

令和6年度 鹿児島県知的障害者福祉協会 事業報告書

【総括】

令和6年度は障害福祉サービス等報酬改定が行われ、より質の高い障害福祉サービスの提供により、障害者の生活の質を向上させることが目指されている。

本協会においては、障害者総合支援法及び児童福祉法に関する最新情報の収集や研修会を実施するとともに、県障害福祉課等行政当局に対して意見・要望を提出した。

また、定例研修の実施による職員の資質向上、人権擁護活動のよりいっそうの推進、広報誌「萌」やホームページによる広報活動の充実、鹿児島県知的障害者施設家族会連合会、さくらじまサポート協会、日本知的障害者福祉協会との連携を図り、知的障害者福祉の増進に寄与した。

1. 障害福祉サービスの更なる充実に向けた取り組み

(1) 「県議会議員及び県障害福祉課と当協会理事との意見交換会」を実施し、要望を述べた。(別紙参考資料)

(2) 「知事と語る会」に会長が出席し、要望を述べた。(別紙参考資料)

(3) 公明党「政策要望懇談会」に三役が出席し意見交換した。(別紙参考資料)

2. 人権擁護に関する取り組み

(1) 人権擁護研修会を実施し、県内各施設から132名が参加した。

(2) 「知的障害者施設の人権擁護ハンドブック第3版」を196冊販売した。

3. 研修活動の推進

(1) 新任職員研修会、中堅職員研修会、施設長等研修会、クリエイティブ研修会等をさくらじまサポート協会との共催で実施した。(詳細は事業実施報告参照)

4. 体育・文化行事等の実施

(1) 施設文化祭(BoonBoonFesta)、作品展示会(WAQ×WAQ SQUARE)、はたちを祝う会をさくらじまサポート協会との共催で実施した。(詳細は事業実施報告参照)

5. 啓発活動の推進・充実

(1) ホームページに協会活動報告や研修・行事案内等を随時掲載し、頻繁に情報の更新が行われた。

(2) 広報紙「萌」を年3回発行した。

6. 組織の再点検と強化、他団体との連携

(1) すべての研修、文化行事をさくらじまサポート協会より事業費助成金(球技大会 500,000 円、WAQ×WAQ SQUARE 500,000 円、Boon Boon Festa 500,000 円、はたちを祝う会 500,000 円、8 研修事業 3,500,000 円 合計 5,500,000 円)を受け開催した。

(2) 会員施設数が令和 5 年度 228 事業所・グループホーム 69 事業所(226 住居)から、令和 6 年度 228 事業所・グループホーム 74 事業所(229 住居)となった。